



仙台手ぬぐい物語プロジェクト

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科／染織

盧 慶美 NO Kyoungmi

准教授、博士（芸術）



1. 研究内容

本研究は、仙台市地下鉄東西線の開業に伴い、活力あふれるまちづくりに参加することを目的とする。近隣地域はもとより国内外問わず、より多くの人々が当地に訪れてくれるよう、学生達の視点で駅沿線地域の魅力を探り出し、その魅力を伝えるツールとして「仙台手ぬぐい物語プロジェクト」を進めている。

この取り組みでは学生達が共に地域活性化を目指しており、調査研究では地元の魅力を探す際に感じたことを基にしている。この調査を通じ新たな発見や出会いがあり、その様々な体験が学生達の学びに繋がっている。

その一手段として、仙台の豊かな自然や様々な歴史・文化、観光施設などの地域資源の特徴を活かしつつ、シンボルとなるモチーフを採り上げ、東西線 13 駅の名駅がもつ独自性を表す手ぬぐいデザインを行っている。

2. 地域・産学連携の可能性

この調査研究は、仙台市地下鉄東西線沿線の魅力発見や、仙台の地域活性化を図る活動の一つとして位置づける。また、仙台市の伝統産業や民間企業の力を活用する地域研究プロジェクトといえる。仙台市との連携により進められているため、まちづくりへの参画と地域イノベーション並びに地域産業、地域文化への貢献を目指した。

地域性を強く意識した手ぬぐいデザインは、2015 年 12 月 6 日地下鉄東西線開業記念に合わせ民間企業とのコラボレーションによって「卸町駅」が製品化されている。今後も引き続き他駅の商品化を考えている。

更に、手ぬぐいにとどまらず、学生達の斬新なアイデアを活かし宮城の民間企業とのコラボレーションによる染色技法を応用したモノ作りも行っている。このような試みが仙台や宮城の魅力を他地域に発信するアイテムとして活用されることに期待を寄せている。



図 1、展覧会「藤崎（本館 3 階特別室）」とのコラボレーション（2015 年 12 月 6 日～12 月 9 日）



図 2、展覧会「東北工業大学一番町ロビー」（2015 年 10 月 30 日～11 月 4 日）



図 3、「卸町駅」の手ぬぐいの完成品

執筆論文

仙台のまちづくり・ものづくりに染色を活かすー地下鉄東西線沿線地域をテーマにした「仙台手ぬぐい物語プロジェクト」



学生参画、染色、仙台、宮城、手ぬぐい